

## **大阪入管は人種差別をするな！**

### **被收容外国人をきちんと医者に診せろ！**

### **腐った食事を出すな！**

### **被收容者を人間として扱え！**

### **外国人への人権侵害は許さない！**

日本も加盟する拷問等禁止条約において「拷問」とは、身体的なものであるか精神的なものであるかを問わず人に重い苦痛を故意に与える行為」とであると定義されています。

大阪入国管理局（以下大阪入管）に收容されている外国人（被收容者）は時間的、空間的感覚を奪われる密閉施設に拘禁され、入管の厳重な管理下で診療の自由を奪われ、食事の選択権も奪われています。

大阪入管は、その被收容者の人権を尊重するという收容主体责任義務を果たそうとせず、体調不良を訴えて医師への受診を何度も要求しても認めず、また腐りかけのキャベツの入った支給食の改善を訴えても改善しようとし、今年8月には支給食に生きたゴキブリが混入していたこともありました。

これらの事実から私達は、大阪入管が恣意的に被收容者の心身を痛めつけようしていると評価せざるを得ませんでした。また被收容者自身が、自らの命と健康を守るために、大阪入管に対して処遇改善を求めるのも、当然の権利です。

### **難民、家族がいる人などの長期の收容反対！**

大阪入管の被收容者の中には、難民申請者や日本に家族がいる者、さまざまな事情で帰国できない人たちが帰国を拒否している人もいます。その中には退令処分取り消し訴訟を起こしている人もいます。

私達は大阪入管に対して、このような人達を長期收容し、「こんな待遇で收容されるのはもういやだ」と音をあげさせ、帰国を強要するような処遇は直ちに改めるよう要求します。

主催：関西仮放免者の会      仮放免者の会についてはこちら → <http://praj-praj.blogspot.jp/>

WITH

TRY（外国人労働者・難民と共に歩む会）

難民支援コーディネーターズ関西

難民支援団体   ピースバード